

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり		
施策	①地域安全対策の推進			
主な取組	暴力団総合対策事業	実施計画 記載頁	119	
対応する 主な課題	沖縄県は海域を含めると広大な行政区域を持っている上、人口や入域観光客数の増加、米軍基地から派生する諸問題等の特殊事情を抱えている。また、警察官1人当たりの110番件数が全国で最も多い。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	<p>【目的】 暴力団の社会からの追放・壊滅による県民の安全・社会の平穩の確保</p> <p>【取組】</p> <p>① 暴力団排除活動気運の普及啓発 ② 暴力団犯罪の徹底取締り ③ 薬物・銃器事犯の徹底取締り</p>						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	暴力団排除活動気運の更なる活性化					→	県
担当部課	警察本部刑事部暴力団対策課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
暴力団対策費	2,696	2,248	<p>暴力団排除活動の推進</p> <p>■暴力団追放沖縄県民会議の機能向上推進(不当要求防止責任者講習20回実施、賛助会員が12法人増加)</p> <p>■関係機関との連携強化(24関係機関との連絡協議会、業者等への暴排講話の実施)</p> <p>■県暴排条例の改正による勧告等の適用範囲の拡大(平成25年2月県議会において改正)</p> <p>■市町村との暴排協定の締結(13市町村との間で締結)</p> <p>■暴力団事務所の撤去(3か所の事務所を撤去)</p> <p>暴力団犯罪の徹底取締り</p> <p>■暴力団検挙人員(H24年中148人)</p> <p>薬物・銃器事犯の徹底取締り</p> <p>■薬物犯検挙人員(H24年中83人)、拳銃押収丁数(H24年中9丁)</p> <p>■違法薬物・銃器の根絶に向けた広報啓発活動の推進</p> <p style="text-align: right;">【全て県単等】</p>	-
活動指標名			計画値	実績値
-			-	-

様式1(主な取組)

推進状況	取組の効果
<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	■ 県暴排条例を改正し、市町村条例への条文追加作業について24市町村で改正 ■ 拳銃押収丁数については前年度より8丁増加

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
暴力団対策費	3,496	暴力団排除活動の推進 ■ 暴力団追放沖縄県民会議の機能向上の推進 ■ 関係機関との連携強化 ■ 各自治体における全契約からの暴力団排除(条項等の追加) ■ 保護対策の強化 ■ 青少年に対する暴排活動の推進 ■ 暴力団からの離脱支援 暴力団犯罪の徹底取締り ■ 暴力団壊滅に向けた取締りの強化 薬物・銃器事犯の徹底取締り ■ 薬物・銃器事犯取締りの強化 ■ 違法薬物・銃器の根絶に向けた広報啓発活動の推進 【全て県単等】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様、事業推進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	各種取組により、県民の暴力団排除気運は盛り上がりを見せているところであるが、依然として指定暴力団旭琉會は存在していることから、引き続き取組を推進する。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

指定暴力団旭琉會の存在
 薬物犯罪の裾野拡大

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

暴力団員検挙対策の強化
 共生者等の資金源対策の強化
 各自治体の取組の強化
 暴力団排除活動の活性化
 水際対策の強化

4 取組の改善案(Action)

暴力団組織、共生者等の実態把握による検挙対策と資金源対策の強化
 各自治体の全契約からの暴力団排除に向けた働き掛けの推進
 暴力団追放沖縄県民会議との連携による暴力団排除活動の更なる活性化
 税関、海上保安庁等関係機関との連携による水際対策の強化